

みんなで語ろう会

ニュースレターNO.62 2018年1月発行

2017年12月20日に第68回“みんなで語ろう会”を開催しました。体験者10名(男性2名、女性8名)、家族3名(男性1名、女性2名)、合計13名の方にご参加いただきました。今回は初参加の方や家族の方が多く集まりました。体験者からは医療者との対話について、家族からは側についても何も出来ない切なさなどの話題が出て、赤裸々な気持ちを皆で共有しました。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ・自分のことは自分の言葉で話す事
- ・他の方のお話は、善し悪しの評価をしないで最後まで聞く事
- ・サロンでのお話はこの場限りにする以上三点です。又個人情報保護のために、SNSの投稿、録音、写真撮影は禁止です。ご協力をお願いしました。

○手術後、後遺症があり外出するのが難しかったが、今は食事をとる時間を考慮するなど、症状をコントロールできるようになってきた。

○手術した肺を強くするためにも、以前からやっていたコーラスを続けている。

○最初の手術の時は何を聞いて良いのかわからなかった。「？」だらけで辛かった。2、3回目の入院の時は全部思っていることを言うと、ナースから医師に伝えてくれた。がんの痛みに関係ないとしても気にしないで訴えてよいと思う。

○医師に自分の聞きたいことをうまく伝えられないので、看護外来の予約も入れて、そちらで質問などをするようにしている。

○医師から、次の予約までに痛くなったら、いつでも電話してくれと言われている。

○患者本人の治療は医師に任せられるが、その患者を支えている高齢の姉のことも心配。

○家族が患者の気持ちに寄り添おうとする場合、どうしてほしいのか患者本人の意思を確認することが大事と思う。

○婦人科系の病気なので、母にばかり頼ってしまい父と距離を置いていた。今はもっと父ともコミュニケーションをとれば良かったと思っている。

○何を食べても良い。食べられないものは体が拒否してくれる。食べてはいけなさと考えすぎるとストレスになってしまう。

○このサロンのように、自分の気持ちを言える場があることが大事だと思う。

ごく一部ですがご紹介させていただきました次回もスタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

今後の予定

- 日時: 毎月・第3水曜日 13時～15時
2018年2月21日(水)
3月21日(水・祭日)お休み
- 場所: 武蔵野赤十字病院 多目的室
5番館 3F 情報ラウンジ横
- 対象: 主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関にかかっても参加できます。
(申込みは不要です。参加費は無料です。)